

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**三朝町立三朝小学校新築工事**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄					全体		
		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.9</b>		
<b>Q1 室内環境</b>			0.40		-	<b>3.1</b>		
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15	-	-	2.6		
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	-			
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.6</b>	0.35	-	-	2.6		
2.1 室温制御		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.60	3.0	-			
2 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	<b>3.0</b>	-			
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.9</b>	0.25	-	-	3.9		
3.1 昼光利用		<b>4.6</b>	0.30	-	-			
1 昼光率	昼光率2.5%。	5.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	トップライトがある。	4.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		<b>4.0</b>	0.30	-	-			
1 昼光制御	カーテンと庇でグレアを制御。	4.0	1.00	<b>3.0</b>	-			
3.3 照度	普通教室の照度610lx。	<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	-			
3.4 照明制御		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.5</b>	0.25	-	-	3.5		
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	建築材料は、規制対象外の建材及びJIS規格のF☆☆☆☆を採用。	4.0	1.00	3.0	-			
4.2 換気		<b>2.3</b>	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.33	3.0	-			
2 自然換気性能		3.0	0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.33	3.0	-			
4.3 運用管理		<b>4.0</b>	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		3.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	建物全体が禁煙。	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-	<b>3.4</b>		
<b>1 機能性</b>		<b>3.7</b>	0.40	-	-	3.7		
1.1 機能性・使いやすさ		<b>4.0</b>	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画	建築物移動等円滑化基準を満たしている。	4.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>4.0</b>	0.30	-	-			
1 広さ感・景観	普通教室の天井高3.0m	5.0	0.50	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		3.0	0.50	-	-			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30	-	-	3.1		
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.4</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管B、排水管B、Eは不使用。	5.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
2.4 信頼性		<b>3.2</b>	0.20	-	-			
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-			
2 給排水・衛生設備	評価する取組みが3つ。	4.0	0.20	-	-			
3 電気設備		3.0	0.20	-	-			
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-			
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-			

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.4</b>	0.30	-	-	<b>3.4</b>	
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>4.6</b>	0.30	-	-		
1	階高のゆとり	階高4.2m。	5.0	0.60	3.0	-		
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.16。	4.0	0.40	3.0	-		
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	-		
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-		
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-		
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-		
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-		
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-		
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>2.2</b>	
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>1.0</b>	0.30	-	-	<b>1.0</b>	
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>	
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.3</b>	
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.6</b>	
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			-	-	-	-	-	
<b>2 自然エネルギー利用</b>			<b>3.0</b>	0.13	-	-	<b>3.0</b>	
<b>3 設備システムの高効率化</b>			[BEI][BEIm] = 0.69	<b>4.1</b>	0.63	-	-	<b>4.1</b>
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.0</b>	0.25	-	-	<b>3.0</b>	
集合住宅以外の評価			<b>3.0</b>	1.00	-	-		
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-		
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-		
集合住宅の評価			-	-	-	-		
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-		
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-		
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>	
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>	
1.1 節水			<b>4.0</b>	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-		
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.9</b>	0.60	-	-	<b>2.9</b>	
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20	-	-		
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-	<b>3.0</b>	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>3.0</b>	0.70	-	-		
1	消火剤		-	-	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-		
3	冷媒		3.0	0.50	-	-		
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.1</b>	
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			ライフサイクルCO2概算値84%。	<b>3.5</b>	0.33	-	-	<b>3.5</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>2.9</b>	0.33	-	-	<b>2.9</b>	
2.1 大気汚染防止			燃焼機器を採用していない。	<b>5.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>2.0</b>	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>2.7</b>	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-		
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.33	-	-	<b>3.0</b>	
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1	騒音		3.0	1.00	-	-		
2	振動		-	-	-	-		
3	悪臭		-	-	-	-		
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.60	-	-		
2	砂塵の抑制		3.0	0.20	-	-		
3	日照障害の抑制		3.0	0.20	-	-		
<b>3.3 光害の抑制</b>			<b>3.0</b>	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		